



第6章

推進に向けた支援制度等

第6章 推進に向けた支援制度等

6-1 支援制度等の考え方

宮の沢エリアのまちづくりを継続的に進めていくためには、人の思いやアイデアだけでなく、それを後押しする支援制度等を、取組の段階や内容に応じて適切に活用していくことが重要です。

支援制度等はすぐに活用しやすいものから、一定の条件整備や行政との調整、さらには官民連携による体制づくりを前提とするものまで、その性格や活用の段階には幅があります。また、支援制度等の分野も、地域主体の活動や公共的空間の活用、景観形成、商業・経済活動、人材育成などさまざまです。

そのため、本指針では、まちづくりの取組の目的や実施段階に応じた支援制度等の考え方を整理するとともに、宮の沢のまちづくりと親和性の高い支援制度等を例示します。

6-2 まちづくり活動を支える主な支援制度等

(1) 身近な取組から活用しやすい支援制度 段階1

地域主体による小規模な活動や、公園や広場の活用、情報発信などについては、既存の支援制度を活用することで、比較的取り組みやすい形で実践につなげることが可能です。

まずは、こうした制度を活用し、小さな取組を積み重ねていくことが、まちづくりの裾野を広げる第一歩となります。

主な支援制度 (例)

- さぽーとほっと基金（札幌市市民文化局市民自治推進室）
- 公園ボランティア制度（札幌市建設局みどりの推進部）
- 歩道美化事業（札幌市建設局みどりの推進部、札幌市西区土木部）
- マイタウン・マイフラワープラン（札幌市建設局みどりの推進部）
- フラワーポットの貸出（札幌市建設局みどりの推進部）
- 西区まちづくりインフォメーションボード（札幌市西区市民部）
- アダプト・プログラム（札幌市西区市民部）

(2) 取組の広がりに応じて活用が想定される支援制度 段階2

取組が継続し、連携・協力のネットワークが広がってきた段階では、商業活動や公共的空間の利活用など、より発展的な取組を支援する制度の活用が考えられます。

これらの制度では、一定の組織体制や、行政との調整が必要となる場合があります。

主な支援制度 (例)

- 商店街地域力向上支援事業（札幌市経済観光局経営支援・雇用労働担当部）
- 歩行者利便増進道路（ほこみち）制度（国土交通省、札幌市）
- 商店街商業機能向上支援事業（札幌市経済観光局経営支援・雇用労働担当部）
- 札幌市景観まちづくり助成金（札幌市まちづくり政策局都市計画部）

(3) 将来の発展を見据えた支援制度 **段階3**

将来的には、エリア全体の価値向上や拠点性の強化を見据え、都市計画的な視点からの土地利用や建築行為と連動した支援制度の活用も視野に入れることが考えられます。

これらの制度は、民間事業者の参画や行政との協議を前提とするものであり、エリアマネジメントの考え方や中長期的な構想とあわせて、段階的に検討していくことが重要です。

主な支援制度 (例)

- 都市再生推進法人制度（国土交通省／札幌市）
- 緩和型土地利用計画制度（札幌市まちづくり政策局都市計画部）
- 優良建築物等整備事業（札幌市まちづくり政策局都市計画部）
- 一体型滞在快適性等向上事業（地方税法附則第15条第38項）（国土交通省／札幌市）

資料編

資料-1 策定過程

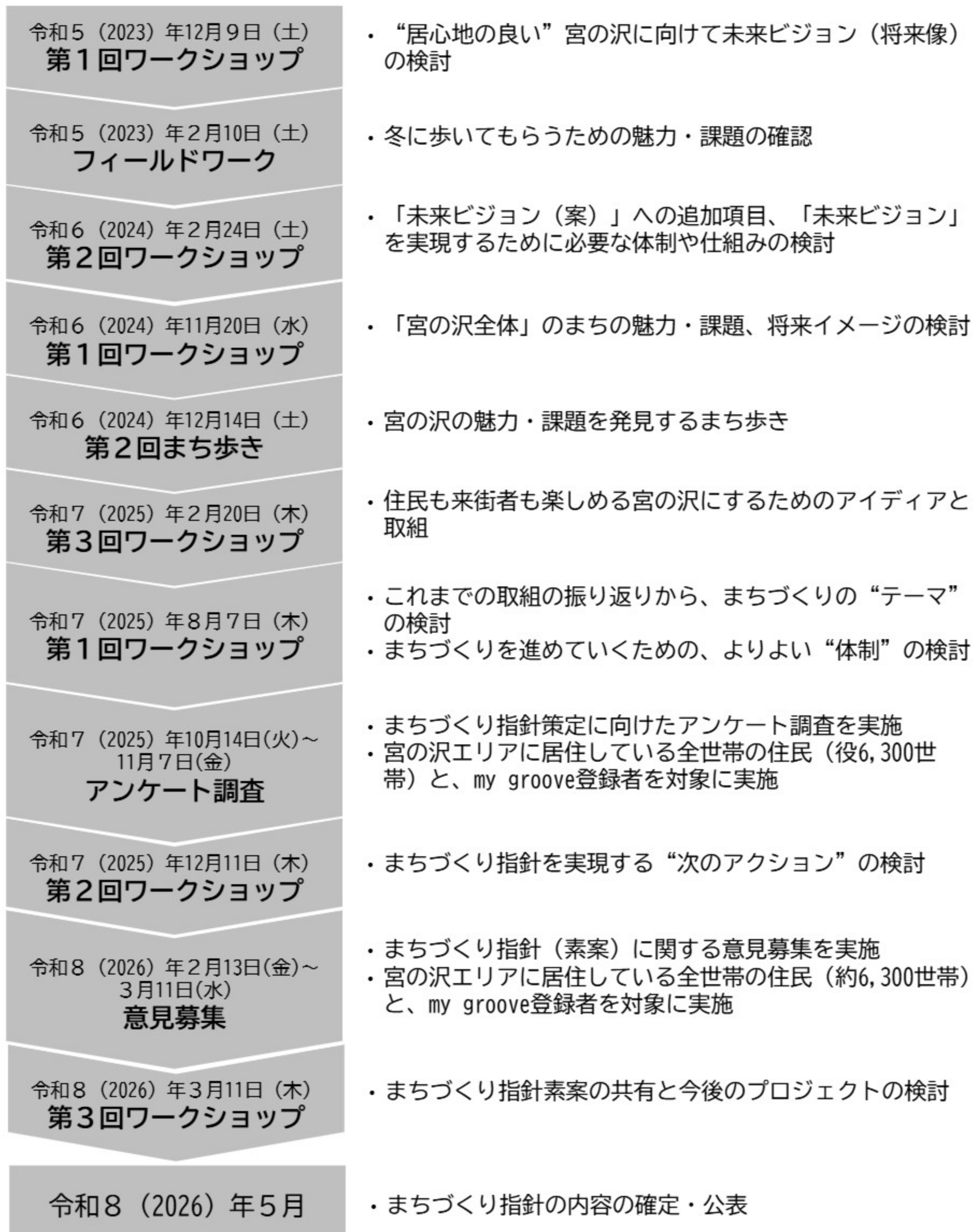
資料-2 ニュースレター

資料-3 アンケート調査結果

資料-1 策定過程

本指針はワークショップ、フィールドワーク、まち歩き、アンケート、意見募集を実施し、内容を検討しました。策定過程は以下のとおりです。

●策定までの経緯



資料-2 ニュースレター

宮の沢まちづくり指針の策定にあたって、ワークショップ（宮の沢ミライ☆ラボ）や街歩きイベントの開催結果等を地域住民等へ周知するニュースレターの作成を行いました。

●ニュースレター発行概要

発行回	主な内容
令和5（2023）年度	
第1回ニュースレター （令和6年(2024)年1月）	- 宮の沢ミライ☆ラボについて - 宮の沢の現状と特性 - 第1回ワークショップの結果 - my grooveの案内
第2回ニュースレター （令和6年(2024)年3月）	- 宮の沢未来ビジョンのイメージについて - 冬のフィールドワークの結果 - 第2回ワークショップの結果
令和6（2024）年度	
第1回ニュースレター （令和7年(2025)年1月）	- まちづくり指針について - 第1回ワークショップの結果 - 第2回まち歩き実施結果
第2回ニュースレター （令和7年(2025)年4月）	第3回ワークショップの結果
令和7（2025）年度	
第1回ニュースレター （令和7年(2025)年7月）	- 宮の沢ミライ☆ラボの取組 - 第1回ワークショップ、歩行者天国イベントの開催案内
第2回ニュースレター （令和7年(2025)年10月）	第1回ワークショップ、歩行者天国イベントの開催結果、アンケート調査の案内
第3回ニュースレター （令和8年(2026)年2月）	- 第2回ワークショップの開催結果 - まちづくり指針（素案）の意見募集 - 第3回ワークショップの開催案内、参加者募集告知
第4回ニュースレター （令和8年(2026)年5月）	第3回ワークショップの結果

宮の沢ミライ☆ラボ ニュースレター

vol.01
2024.01

「居心地の良い宮の沢」の“未来”を考えよう！

歩行者にとって「居心地が良く、歩きたくなる」宮の沢をみんなで考えるワークショップ「宮の沢ミライ☆ラボ」が始まりました！参加者の皆さんからいただいた意見やアイデアなどを、ニュースレターでお知らせします。



そもそも「居心地が良く、歩きたくなるまちづくり」って？

車中心から人中心のまちへ転換を図り、誰もが歩きたくなるまちをつくる取組のことです。

札幌市では、歩行者にとって居心地が良く、歩きたくなるまち「ウォカブルシティ」の実現に向けて取り組んでおり、宮の沢もモデル地区の一つです。

今年度は、地域の皆さんとの意見交換やフィールドワークをつうじて、宮の沢の未来ビジョン（目指すべき姿）を整理します。



図：国土交通省が示す「居心地が良く歩きたくなるまち」のイメージ
(出典 国土交通省 ウォカブルポータルサイト：<https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/>)

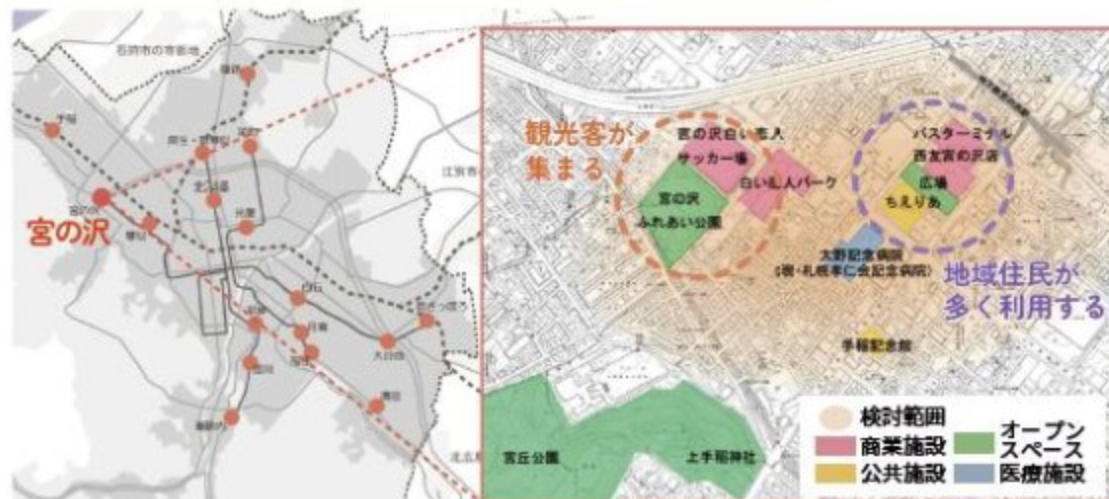
宮の沢の現状と特性

地域交流拠点「宮の沢」

札幌市では、地域の豊かな生活を支える中心的な役割を担う拠点として「宮の沢」を含む市内17カ所を地域交流拠点に位置付けています。

豊かな資源やオープンスペース

ちえりあ前広場、白い恋人パーク、宮の沢ふれあい公園など、地域住民や観光客も集まる豊かな地域資源とオープンスペースが存在します。



図：第2次札幌市都市計画マスタープラン



第1回
ワークショップの
結果は裏面へ

第1回宮の沢ミライ☆ラボ（ワークショップ）の結果

2023（令和5）年12月9日（土）に開催した第1回ワークショップでは、居心地の良い宮の沢の未来ビジョン（目指すべき姿）について参加者の皆さんからご意見をいただきました。

“回遊性”を高めるためのアイデアやイメージ

ちえりあ前広場



芝生や木陰、テーブルやベンチを設置し心地良い空間をつくり、人々が憩える広場

- ・樹木や芝生など植栽を増やす。
- ・テーブルやベンチなど休憩スペースを増やす。

カフェや飲食の販売など、常に何かやっている広場

- ・オープンカフェの実施、キッチンカーの出店、音楽、ワークショップなどが常に行えるようにする。

宮の沢ふれあい公園



新たな使い方や季節ごとのイベント活用を促進して、四季を通して利活用される公園

- ・火気を使えるようにすると、活用の幅が広がるのではないか。
- ・地域のお祭り、運動会、冬のイベント（アイスキャンドル、雪像づくり）などで活用する。

白い恋人パークや道路空間も活用した一体的な空間づくり

- ・宮丘小学校通西線を「歩行者天国」にして、公園・白い恋人パークを一体的に活用する。

道路空間

道道124号、西野・屯田通、宮の沢一条通、宮丘小学校通西線など



安全安心で歩きやすい歩行空間

- ・舗装デザインの統一、歩道の段差の解消、案内サインでの誘導などを行う。

歩いていて楽しいワクワク感のある歩行空間

- ・緑や花による演出、フラッグやバナー設置、イルミネーション、アイスキャンドルなどを官民連携でつくる。

飲食や健康増進など歩きたくなるコンテンツや仕掛けを展開

- ・消費カロリーと運動させたスタンプラリー、スイーツ食べ歩きなどの仕掛けができないか。

その他

宮丘公園の自然環境を活かした利活用

- ・上手稲神社、公園麓の水辺も含めて自然を満喫できる散策コースをつくる。

手稲記念館の利活用

- ・木陰を活かしたオープンカフェの展開、休憩スペースとして講堂を開放する。

※上記は、ワークショップでいただいた意見をまとめたものであり、現時点で実施が決まっているものではありません。

次回のご案内＆参加メンバーも募集しています！

第1回
ワークショップ

2023.12/9（土） 09:30～11:30
居心地の良い宮の沢の未来ビジョン（目指すべき姿）

募集中！

フィールド
ワーク

2024.2/10（土）
参加者全員で宮の沢をまち歩きするフィールドワーク

①日中の回 13:30～15:30
②夕方の回 16:00～18:00

集合場所：
「ちえりあ」3階研修室1
（西区宮の沢1条1丁目）

お申込みはこちらから



2/5（月）まで
各回先着15名様

第2回
ワークショップ

2024.2/24（土） 09:30～11:30
フィールドワークの振り返りや未来ビジョンへの検討（予定）

“居心地の良い”宮の沢に向けて、未来ビジョン（将来像）を整理

札幌市まちづくり政策局政策企画部政策推進課
電話：011-211-2139 メールアドレス：seisaku.suishin@city.sapporo.jp

Check!
my groove

「my groove（マイグルーブ）」というWEBサイトでも取組の経緯や今後の見通しなどを紹介しています。ワークショップやフィールドワークに参加できない方もぜひご覧ください。

SAPP
RO

02-B01-23-2485
R5-2-1520

宮の沢ミライ☆ラボ ニュースレター

vol.02
2024.03

みなさんのご意見を踏まえて「宮の沢未来ビジョン」が完成しました！！

ワークショップ、フィールドワーク、my groove で寄せられた意見を踏まえて完成した“居心地がよく歩きたくなる”宮の沢未来ビジョンをご紹介します！

『宮の沢未来ビジョン』は宮の沢エリア全体ほかに、これまでの議論で「もっと活用したい場所」として意見が多く出ていた『ちえりあ前広場』と『宮の沢ふれあい公園』の3つを作成しました。

宮の沢エリア全体



ちえりあ前広場イメージスケッチ



夏の様子

- ・芝生広場の整備や子どもが遊ぶスペースの確保
- ・音楽イベントやオープンカフェの開催 など

冬の様子

- ・スノーキャンドルの設置
- ・イルミネーションの復活
- ・雪像づくりや冬のマルシェの開催 など

宮の沢ふれあい公園イメージスケッチ



夏の様子

- ・山を見ながらチルアウト
- ・スポーツを楽しむ公園
- ・キッチンカー&マルシェの開催 など

冬の様子

- ・雪合戦、雪上サッカー、雪中宝探し
- ・子ども達が楽しめる雪や氷のイベント開催 など

宮の沢ミライ☆ラボ ニュースレター vol.02 (2024 年 3 月)

宮の沢未来ビジョン完成までの道のり
冬のフィールドワークの結果を紹介します2024 (令和 6) 年
2 月 10 日 (土) 実施

宮の沢の魅力を体験し、参加者みんなで「居心地がよく歩きたくなる宮の沢」を
考える冬のフィールドワークを開催しました！

当日は、下記の場所を実際に歩き、冬の魅力や課題を考えました。



確認した場所	確認内容と主な意見	
ちえりあ前広場	冬の広場に必要な仕掛け ・キャンドルや光の演出 ・冬のアウトドア要素 など	冬に広場を活用しにくい課題 ・「活用できる」という情報発信 ・休憩スポットとしての日常的開放 など
道道 124 号線 (宮の沢北一条通)	冬に歩きやすくするために必要な取組 ・歩道の除雪、ロードヒーティング など	冬に歩きたくなる動機付けで足りないこと ・歩いて楽しい魅力の発信 (ex. 山の眺望、散策ルートやカフェ情報等 など)
白い恋人パーク	もっと気軽に訪れたいようになるために必要な取組 ・パーク外の空間と一体となったイベント (周辺の施設とも連携した取組) など	
市道宮丘小学校通 西線	冬に歩きやすくするために必要な取組 ・休憩スポット (ベンチ、屋内の休憩所) など	冬に歩きたくなる動機付けで足りないこと ・歩行者天国化 など
宮の沢ふれあい公園 ※当時はスノーライト in 宮の沢 (空間活用実証実験) 開催中	冬の公園に必要な仕掛け ・雪や氷を使ったイベント ・冬のマルシェ、キッチンカー など	冬に公園を活用しにくい課題 ・イベント使用の条件緩和 など
冬の宮の沢について	もっと歩きたくなる宮の沢にするために必要なこと ・安全に歩ける環境、案内・誘導のサイン、休憩スポット、地域住民が交流できる場所 など	

冬のフィールドワークのまとめ

ハード
に関する
内容

・安全な歩行空間の整備
・日常的な演出 (緑・花・光など)
・要所に休憩スポット

ソフト
に関する
内容

・周辺施設と連携したコンテンツ
を展開して、宮の沢全体の回
遊性を高める

運営
に関する
内容

・地域や企業の相互協力
・情報発信

宮の沢未来ビジョン完成までの道のり
第 2 回ワークショップの結果を紹介します2024 (令和 6) 年
2 月 24 日 (土) 実施

今年度最後となるワークショップでは、未来ビジョンを実現するために必要な体制や
仕組みについて参加者の皆さんと議論しました。

当日いただいた意見も踏まえて、「宮の沢未来ビジョン」完成に至りました。



主な意見

- ・町内会、地域の企業、団体やボランティアなどが協力して、体制づくりをしながら小さなイベントを重ねてみる。
- ・広場、公園などの公共空間やオープンスペースで実験的な取組を行なっていく。
- ・広場、公園を地域の人々で運営管理できることが理想。
- ・地域の公共空間やオープンスペースを活用する際の「ガイドライン (使用するための手引き)」があるといい。
- ・宮の沢に関わる情報を、いろいろな手法で発信していく。



次年度以降も「居心地よく歩きたくなる宮の沢」の取組は継続していきますので、
今後もぜひご協力をよろしくお願いいたします！

札幌市まちづくり政策局政策企画部政策推進課

電話：011-211-2139 メールアドレス：seisaku.suishin@city.sapporo.jp

SAPP
RO

第1回ニュースレター（令和6年度）



「宮の沢」まちづくり通信

令和7年2月発行

宮の沢ミライ☆ラボ（ワークショップ、まち歩き）の
途中結果と次回ワークショップについてお知らせします！

宮の沢エリア全体の『まちづくり指針』策定プロジェクトがスタート！

宮の沢ミライ☆ラボは2023年度に始まり、昨年度は「歩行者にとって居心地がよく、歩きたくなるまちづくり」をテーマに、「宮の沢未来ビジョン」を作成しました。

今年度からは宮の沢エリア全体のまちづくりの方向性を示す『まちづくり指針』の策定を始めています。

2023(令和5)年度

- ・意見交換、フィールドワークを経て、「居心地が良く歩きたくなる」宮の沢未来ビジョンを作成



宮の沢未来ビジョン

2024(令和6)年度

- ・「宮の沢未来ビジョン」も踏まえ、宮の沢全体における『まちづくり指針づくり』を開始



ワークショップ

まち歩き

2025(令和7)年度

- ・引き続き、『まちづくり指針』の内容を検討
- ・2025年度末に策定予定

まちづくり指針のイメージ
(画像は、平岸まちづくり指針)

まちづくり指針って？

- ・「まちでの活動や暮らしをより良く」していくための「まちづくりの方向性」を示す計画となります。
- ・例えば、景観のルールや楽しい活動をみんなで行うための取組を整理する予定です。

今年度1回目のワークショップ結果を紹介！

2024(令和6)年
11月20日(水)実施

「宮の沢全体」のまちの魅力・課題や将来イメージの検討について、参加者の皆さんからご意見をいただきました。これまでの地下鉄駅や宮の沢ふれあい公園周辺だけでなく、住環境、みどりや水辺空間など、多岐にわたる意見をいただきました。



主なご意見		○：魅力 ●：課題	キーワード
都市と自然の バランスが 良いまち	●：自然と近接しながら地下鉄駅やバスターミナルなどがあって、生活利便性が高く住みやすい。 ●：数年後も住みやすい住環境の維持、空き家や空地への対応・活用など必要になりそう。		住環境 水とみどり 都市機能
みどりと水辺が 身近なまち	●：公園緑地や河川が近い。みどりと水の空間はコミュニティ形成の場にもなる。 ●：中の川公園(旧中の川)は憩いの場所になるため、もっと親水性や活用を高めていく。		水とみどり コミュニティ
景観を楽しめるまち	●：宮の沢南緑地から、宮の沢エリア一体の眺望を楽しめる場所がある。		景観
空間を活用して 賑わいをつくるまち	●：ちえりあ前広場や宮の沢ふれあい公園は、ウォーカブルの核となる場所である。 ●：ちえりあ〜白い恋人パークは、花やキャンドルなどで魅力的なストリートにできる。		ウォーカブル オープンスペース
店舗が充実して おいしいまち	●：旧中の川、西野・屯田通、宮丘公園の北西のエリアなど、エリア内の色々な場所におしゃれなカフェがある。小さな名店もあちこちにある、宮の沢の魅力のひとつ。		都市機能
歴史・文化が 息づくまち	●：手稲記念館は、宮の沢の歴史を物語る施設である。敷地内には樹木もあり、オープンスペースとして活用を高めていけないか。 ●：中の川公園(旧中の川)には時習館記念碑があり、教育や文化的資源のひとつである。		ウォーカブル オープンスペース エリアマネジメント
多様な主体・ひとが 集まるまち	●：地域住民、観光客、企業、各種団体など多様な主体がいて、連携できそう。 ●：暮らす、訪れる、働く、学ぶなど、色々な活動があることでまちに多様性が出る。 ●：宮の沢の魅力について、地域住民にも観光客にももっと情報発信できると良い。		エリアマネジメント 情報発信

宮の沢まちづくり通信（令和7年2月）

まち歩きの結果を紹介！ 2024(令和6)年
12月14日(土)実施

第1回のご意見をもとに、参加者みんなで「宮の沢で大切な場所」を確認する「まち歩き」を開催しました。下記の場所を実際に確認し、新たな発見や将来についての意見などいただきました。



確認した場所	主なご意見	
ちえりあ広場	活用しやすくする取組	一般利用の緩和、利用ガイドラインなどの用意と情報発信 ・イベントをする際、手続きが簡易になると気軽に活用できる。
宮の沢一条通	歩きたくなる空間づくり	飲食やカフェなど店舗の充実 ・お店があると歩きたくなりそう。アート作品などの仕掛けや植栽も大切。
旧中の川周辺	水辺と調和した住環境づくり	水辺へのアクセス・親水環境の向上 ・歴史、ルートマップ、川辺までの階段、生態観察など親水できる取組などがあると良い。 ・夜は暗そうなので照明などによる工夫があると良い。
中の川公園	活用しやすくする取組	地域住民が交流できる機会（イベントなど）の創出 ・水辺広場で遊べる仕掛け、川を活用したイベントなどがあると良い。
手稲記念館	活用しやすくする取組	地域住民が交流できる機会（イベントなど）の創出と情報発信 ・施設の屋内外をもっと活用する。カフェや多世代交流の場に使っていく。 ・魅力的な施設なので、多くの人に存在を知ってもらう情報発信が大切。
中の川	整備・活用の方向性	地域住民が憩える水辺空間の整備 ・宮の沢ふれあい公園との連携、川遊びができるような親水性が高まると良い。
住宅街	宮の沢にふさわしいイメージ	建物の周りが緑化や花で彩られている ・建物外観を統一させることは難しいため、みどりや花壇で一体感を出す。 空地や空き家などが管理されている ・空地や空き家が放置されると防犯・防災面で心配なので、対応が必要。
宮の沢の将来イメージ	住民	・歴史や自然に愛着をもち、住み続けたくなる・戻ってきたくなるまち。
	働く人	・気軽なショッピングや飲食を楽しめて、日常的に賑わいがあるまち。
	観光客	・観光施設と連絡する歩行空間や自然を楽しめて、回遊性が高いまち。

※中の川、住宅街の一部、宮の沢の将来イメージについては、まち歩き時間の都合上現地での確認は行わず、写真を見ながら参加者に意見をいただきました。

次回のご案内&参加メンバーも募集しています！

これまで参加していない方も大歓迎！

第1回 ワークショップ ・ 第2回まち歩き	2024.11/20(水)「宮の沢全体」のまちの魅力・課題や将来イメージ 2024.12/14(土) 宮の沢の魅力・課題を発見するまち歩き
募集中！ 第3回 ワーク ショップ	2025.2/20(木) 18:30~20:30 まちづくりの方向性や取組のアイデアの検討(予定) 場所： Route148(ルートイシヤ) (西区宮の沢1条1丁目4-3) お菓子や飲み物も用意します お気軽にご参加ください！

お申込みはこちらから



2/19(水)まで

参加無料

Check!

my groove

「my groove (マイグルーブ)」というWEBサイトでも取組の経緯や今後の見通しなどを紹介しています。
こちらで意見募集もしておりますので、ワークショップに参加できない方もぜひご覧ください。



次年度も『まちづくり指針』に関する取組を検討していきます

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】
札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課
電話：011-211-2545（担当/佐々木、藤村、若林）
<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>

宮の沢での取組



第2回ニュースレター（令和6年度）



「宮の沢」まちづくり通信

令和7年4月発行

宮の沢ミライ☆ラボ（第意見交換）の
結果についてお知らせします！今年度3回目のワークショップ結果を紹介！ 2025(令和7)年
2月20日(木)実施

これまでの意見をもとに、宮の沢の未来をもっとワクワクするものにするための方向性やアイデアを考えました。宮の沢は、観光客などの「来街者」も多く訪れる場所です。そこで、今回は「来街者」の視点も踏まえて、今後のまちづくりについて意見交換を行いました。



“来街者”も楽しめるまちに
していくため、
特に大事なキーワード

“来街者”の視点も踏まえた取組のアイデア

●：アイデア ●：配慮すること

住環境・コミュニティ・景観
(住まい、町内会、
景色、街並みなど)

- ：観光客や来街者が来ると、まちが活気づく。若い世代を呼び込みたい。
- ：閑静な住宅地もあるため、来街者が増えてオーバーツーリズムは避けたい。
- ：地域住民が日常的に利用する動線（人やものの動き）と、来街者の動線を分ける工夫はどうか。
- ：宮の沢ふれあい公園などから見る山並みが、自然との近さを感じさせる。住民も来街者も山並みが見えた方が良いので、眺望を守る必要がある。

水とみどり
(河川や公園、
街路樹などの樹木など)

- ：中の川や旧中の川（川沿いの桜）、中の川公園など川沿いを散策できると良い。中の川の上流にある上追分川などもお勧め。
- ：地域をよく知るガイドが必要ではないか。宮の沢は自然が近く空気も良いので、自然景観や親水を楽しみながら歩けるガイドツアーができると良いのではないかな。

ウォーカブル
(歩きやすさ、公共空間の活用、
沿道の賑わいなど)

- ：白い恋人パークは、宮の沢最大の観光交流施設である。ここに来る・来た来街者に楽しく歩く仕掛けが必要である。また、他の施設や資源へ誘導したい。
- ：コンサふれあい通、北5条・手稲通（道道124号）、西野屯田通、宮の沢一条通、ラベンダー通がウォーカブルの軸になりそう。
- ：宮の沢ふれあい公園、ちえりあ前広場とアトリウム、中の川公園、白い恋人パーク、手稲記念館のほかに、民間の駐車場なども含めた屋内外のオープンスペースを活用して、滞留と観光客も参加できる賑わいをつくる。
- ：地域の町内会館も利用すると、住民と観光客のふれあいにもなる。
- ：宮の沢一条通は送迎する車、バス、トラックが通るため、地域の子どもや来街者も安全に歩けるようになると良い。
- ：白い恋人パーク、北5条・手稲通（道道124号）、宮の沢一条通、ラベンダー通を花と緑、フラッグなどでつないで、地下鉄駅から歩きたくなるようにする。
- ：道路や広場、施設の壁などを活用したアートの仕掛けで、歩きたくなるようにする。
- ：白い恋人パークや公園・広場を使ったイベントがある日は、周辺の施設やお店でもイベントを行って一体的な回遊性をつくる。（例：ちえりあを通過して白い恋人パークに来た観光客を、上手稲神社、宮丘公園まで誘導する）
- ：地下鉄改札のコンコースや動く歩道など、地下空間もうまく使っていくはどうか。

エリアマネジメント
(地域住民等による様々な活動)

- ：地域住民（子どもから高齢の方まで）、地域の企業や団体、学生などとも連携してウォーカブルや賑わいのコンテンツをつくると良い。
- ：コンテンツを楽しみたい観光客の他に、一緒に企画をしたいと思う地域外の人々も呼び込むことができるかもしれない。

情報発信
(SNSや観光PRなど)

- ：地下鉄を出た後に案内サイン、デジタルサイネージなど現地での案内情報が充実されると良い。
- ：地域の魅力マップ、散策ルート、サイクリングルート、歩きながら楽しめる視覚情報（キロポストやアートなど）があると良い。

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】
札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課
電話：011-211-2545（担当 / 佐々木、藤村、若林）
<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>



第1回ニュースレター（令和7年度）



西区環境キャラクター
さんかくやまべ

「宮の沢」まちづくり通信

令和7年7月発行

宮の沢ミライ☆ラボと
ホコ天イベント開催のお知らせ！

今年度も『まちづくり指針』策定プロジェクトが始まります！

2023年度から始まった宮の沢ミライ☆ラボの取組は、今年度で3年目を迎えました。昨年度からスタートした宮の沢エリア全体の方向性を示す『まちづくり指針』策定の取組は、いよいよ2025年度が最後！

今年度も地域の皆さんと一緒に意見交換を重ねて、『まちづくり指針』を策定します。

2024年度の宮の沢ミライ☆ラボの取組を紹介！

宮の沢ミライ☆ラボで出された各回の主な意見をご紹介します。

これまでの取組は
ここから



札幌市 HP

第1回 ワークショップ

2024.11.20

「宮の沢全体」のまちの魅力・課題や将来イメージ

都市と自然のバランスが
良いことが魅力！

みどりと水辺が身近で
暮らしやすい！

空間を活用して賑わいを
つくっていききたい！

多様な主体・ひとが
集まるのが強み！



第2回 まち歩き

2024.12.14

宮の沢の大切な場所を確認

ちえりあ広場などは、利用の
ガイドラインがあるといい。

中の川公園の水辺で、交流
イベントをしよう！

歩きたくなる空間として
飲食・カフェの充実を！

手稲記念館は、屋内・
屋外の利用ができそう



第3回 ワークショップ

2025.2.20

来街者も楽しめるまちにしていけるための大事なキーワード

住環境や景観の良さを考え
ると、観光との共存が大事

地域住民などによる様々
な活動や情報発信も大事

水とみどりは活かしたい

歩きやすいこと、公共空間を
使って賑わいを



※上記の二次元バーコードから「宮の沢のこれまでの取組」にアクセスいただくと、各回の具体的な意見をご覧いただけます。

宮の沢ミライ☆ラボ 2025 を開催します！

これまで参加していない方も大歓迎！

募集中！

第1回
ワーク
ショップ

2025年8月7日(木) 18:30~20:30

これまでの取組の振り返りから、まちづくりの“テーマ”を検討

場所：
Route148（ルートイシヤ）
（西区宮の沢1条1丁目4-3）

お菓子や飲み物も用意します
お気軽にご参加ください！

お申込みはこちらから



8/6(水) まで

参加無料

第2回
・
第3回
ワークショップ

第2回は2025年12月中旬
第3回は2026年2月ごろを予定しています。

これまでの取組やご意見を参考に、『まちづくり指針』を策定します

Check!

my groove

「my groove（マイグルーヴ）」
というWEBサイトでも取組の
経緯や今後の見通しなどを紹
介しています。

こちらで意見募集もしておりま
すので、ワークショップに参加で
きない方もぜひご覧ください。



地域のイベントと道路の歩行者天国化(通行止め)について

昨年度に引き続き、コンサタウンふれあいフェスタの開催にあわせて、コンサふれあい通り(宮丘小学校通西線)を歩行者天国化します。

歩行者天国化することで、歩行者の安全性が確保されるほか、「宮の沢ふれあい公園」と「白い恋人パーク」の往来もしやすくなり、さらに道路空間をイベントとして活用することで、地域の賑わいも生まれます。

ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

通行止め日時(予定)
8月23日(土) 9時~20時半

- ・通行止めの時間は前後する可能性があります。
- ・お祭りが中止の場合は、通行止めしません。
- ・自転車をご利用の方は、降りて通行願います。



●歩行者天国でのイベントについて

歩行者天国区間では、「PICNIC FES MIYANOSAWA」が開催されます。

白い恋人パーク内や沿道ではたくさんの CRAFT 系のショップやキッチンカーが出店するほか、道路上ではワークショップや子どもの遊び場、音楽イベントなどイベント盛りだくさんです。詳細は、SNS 等でご確認ください。

(Instagram: @picnicfes ※QRコード→)



また、昨年に続き(株)コンサドーレ様ご協力のもと、キックターゲットを行う予定です。



昨年度の開催の様子

●コンサタウンふれあいフェスタ

日時: 8月23日(土) 12時~19時30分(予定)

場所: 宮の沢のふれあい公園

主催: 西町地区夏祭り・盆踊り大会実行委員会

問い合わせ: ☎663-3093

※荒天中止、順延なし

駐車場がありませんので公共交通機関を利用ください

●PICNIC FES MIYANOSAWA

日時: 8月23日(土)

【コンサふれあい通り部分】10時~16時(予定)

【白い恋人パーク内部分】10時~18時(予定)

場所: 白い恋人パーク、コンサふれあい通り

主催: 宮の沢まちづくり協議会

企画運営: ピクニック・フェス宮の沢実行委員会

問い合わせ: picnicfes@gmail.com

※歩行者天国中止の場合、白い恋人パークのみで開催

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

電話: 011-211-2545 (担当/佐々木、新保、若林)

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>

※8月23日(土) 通行止め当日のご連絡は西町会館「011-663-3093」へ

宮の沢での取組



2-803-25-1558
R7-2-1117

第2回ニュースレター（令和7年度）



「宮の沢」まちづくり通信

令和7年10月発行

第1回ワークショップ「宮の沢ミライ☆ラボ」と
ホコ天イベント開催結果をお知らせ！

令和7年度1回目のワークショップを開催しました！

令和7年度に策定予定の「宮の沢まちづくり指針」に向けて、8月7日（木）、地域の皆さんと一緒に未来の宮の沢を考える第1回ワークショップを開催しました。

子どもから大人まで幅広い世代が参加し、グループごとに「どんなまちにしたい？」「そのためにどこで何をすればいい？」をテーマに、たくさんの意見やアイデアが出されました。



まちづくり指針について検討しました！

まちづくり
指針って？

「まちでの活動や暮らしを楽しく」していくための方向性を示す計画となります。例えば、景観のルールや楽しい活動をみんなでやるための取り組みを整理する予定です。

まちづくり指針の対象は？

地域に暮らす住民が自分のまちをもっと好きになること、そしてその想いに観光客や来街者が共感できるようなまちを目指すこと。

そのために、子ども、若い世代、高齢者、企業や団体など、さまざまな立場の人が関わり、アイデアを出し合うことが大切です。



こんな未来を目指したい！

広場

- ・ちえりあ前広場をもっと活用！
- ・定期的なイベントがあると良い
- ・日常的に交流が生まれる
“動きのある公園”に

自然

- ・生体調査（生き物発見）や子ども向けの活動をする
- ・花づくり、緑づくり（ソフトの活動）に取り組む

つながり

- ・歴史やみどりを活かす
- ・カフェやお店を集積する
- ・歴史を語るサイン、統一感のある案内

まちづくりの推進のために

若い人や地域住民の参画

- ・大学生や高校生が地域活動に関わる
サポーターになってもらう
- ・情報発信して仲間を集める



まちづくりを推進する体制

- ・統括する組織や相談窓口が必要
- ・そこに地元のサークル団体等が参画



継続的な人と人との交流

- ・まちづくり（情報と活動）の拠点をつくる
- ・協議をする場が必要



『まちづくり指針』策定のためのアンケートを実施！

第1回 ワークショップ	2025年8月7日実施
募集中！	アンケートを実施中！ 回答期限は 11月7日（金） まで
第2回 ワークショップ	2025年12月ごろを予定しています。（後日ご案内予定です！）
意見募集 ・ 第3回 ワークショップ	2026年2月ごろを予定しています。

これまでの取組やご意見を参考に、『まちづくり指針』を策定します

Check!

my groove

「my groove（マイグループ）」というWEBサイトでも取組の経緯や今後の見通しなどを紹介しています。ぜひご覧ください。



歩行者天国の実施結果について

8月23日（土）に、「コンサタウンふれあいフェスタ」の開催に合わせて実施した「コンサふれあい通り（宮丘小学校通西線）」の歩行者天国化の当日の様子をご紹介します。

当日は、「ピクニック・フェス宮の沢」が歩行者天国として開催され、多くの方に普段とは異なる道路空間を体験していただきました。また、公園、道路、白い恋人パークが一体的に賑わい、交流のつながりもできました。

今回の実施結果をもとに、地域の皆様と引き続き、今後のまちづくりを検討していきたいと思います。

通行止めに伴い、地域の皆様方には多大なるご協力をいただきありがとうございました。



沿道のキッチンカーや道路上の休憩スペースなど賑わいのある居心地の良い空間となりました。



子ども達が遊ぶコンテンツも多く用意され、道路上で遊ぶ子どもたちの様子が印象的でした。



芝生上では、音楽を演奏したりくつろいだり、非日常的な空間が演出されました。



歩行者天国によって、周辺施設と一体的な賑わいが創出され、施設間の交流が生まれました。



歩行者天国とすることで、安心して移動できる空間が創出されました。



夜には、お祭の花火を鑑賞するための場所としても活用されていました。

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】
札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課
電話：011-211-2545（担当/佐々木、新保、若林）
<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>

宮の沢での取組
（札幌市 HP）



第3回ニュースレター（令和7年度）



西区環境キャラクター
さんかくやまベエ

「宮の沢」まちづくり通信

令和8年2月発行

「宮の沢ミライ☆ラボ」第2回ワークショップの開催結果と
次回ワークショップ・指針（素案）意見募集のお知らせ！

令和7年度2回目のワークショップを開催しました！

令和7年12月11日（木）に、宮の沢地区のまちづくりを検討する第2回ワークショップ「宮の沢ミライ☆ラボ」を開催しました。

20名以上の方にご参加いただき、これまで皆さんと議論してきたまちづくり指針を踏まえながら、その実現に向けた具体的なアクションについて意見交換を行いました。

テーマ まちづくり指針を実現する“アクション”を考えよう

これまで、宮の沢地区に「必要な取り組み」や「こうなったらいいな」というアイデアの意見交換をしており、現在それらの意見を踏まえ、まちづくり指針を策定しています。

今回のワークショップでは、参加者自身が、今後どのような取り組みなら「できる」のか、「関わっていききたい」のかといった視点で意見交換をし、具体的な“アクション”を検討しました。

今後、このアクションをブラッシュアップしていきます！

これまでの取組は
ここから



札幌市 HP



ワークショップで意見があった主なアクション

▶ 謎解きから、つながり、にぎわう！

- ・まちに散りばめられたヒントをたどりながら、イベントやお店、食や歴史に出会うワクワクのまち歩き

▶ 昔の宮の沢のまちなみ再現

- ・展示や聞き取りを通して、まちの記憶や想いを集める活動。
- ・若い世代が中心となり、かつての風景をクラフトオブジェとしてよみがえらせます。

▶ 景観やみどりをつくり、活かす、日陰づくりプロジェクト

- ・木や草のカーテンがつくる心地よい日陰づくり、まずは一日限定の実施からスタート。
- ・夏のホコ天とあわせて、道にみどりを添えながら、景観もにぎわいも楽しく育てていきます。

▶ ちえりあ前広場から新たな学びと楽しさを

- ・名前募集をきっかけに活用を広げ、まずは子ども向けイベントからスタート。
- ・誰もが気軽に、平等に楽しめる場へと育てながら、無料で学べて、収益は広場に還元される、ひらかれた拠点を目指します。

▶ ちえりあとの親和性 good！宮の沢音楽フェス

- ・世代もジャンルもこえて、誰もが参加できる音楽フェスを開催。
- ・演奏やセッション、食を楽しむにぎやかな場をひらき、地域アーティストや学生の発表の舞台として、宮の沢に新しいワクワクとにぎわいを生み出します。



宮の沢まちづくり通信（令和8年2月）

「宮の沢まちづくり指針」を検討しています！

これまで開催してきたワークショップでの取組やアンケートの結果などを踏まえて、「宮の沢まちづくり指針」を現在策定中です。

2025 年度のスケジュール

第1回 ワークショップ	2025 年 8 月 7 日実施	
アンケート	2025 年 10 月 14 日 ～ 11 月 7 日実施	
第2回 ワークショップ	2025 年 12 月 11 日実施	

Check!

my groove

「my groove (マイグルーヴ)」というWEBサイトでも取組の経緯や今後の見通しなどを紹介しています。ぜひご覧ください。



意見募集を行います！

宮の沢まちづくり指針
(素案)

「まちでの活動や暮らしを楽しく」していくための方向性を示す指針となります。

例えば、景観のルールや楽しい活動をみんなで
行うための取り組みなどを整理しています。

概要版のほか、本編を web 公開しております
ので、ぜひご覧ください。

札幌市 HP「地下鉄宮の沢駅周辺地区での取組」
(下記 QR) に、まちづくり指針(素案)本編と概
要版を載せています。



「まちづくり指針(素案)」について
ご意見を募集中です！

受付期間：2月13日～3月11日

HP に記載の提出方法を参照の上、
ご回答ください



第3回ワークショップを開催します！

宮の沢ミライ☆ラボ 2025
第3回ワークショップ

日時：2026 年 3 月 12 日 (木) 18:30～20:30

テーマ(予定)：

「まちづくり指針(素案)の共有と
今後のプロジェクトについて」

場所：Route148 (ルートイシヤ)
(西区宮の沢1条1丁目4-3)

お菓子や飲み物も用意します
お気軽にご参加ください！



これまで参加していない方も大歓迎！

第3回ワークショップの参加者を
募集中です！

参加無料

申込期間：3月11日(水)まで

こちらのフォーム(→) または、
下記お問い合わせ先からお申込ください



「宮の沢まちづくり指針」を策定(5月予定)

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

電話：011-211-2545 (担当/佐々木、新保、若林)

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>



2-803-25-2652
R7-2-1736

第4回ニュースレター（令和7年度）



「宮の沢」まちづくり通信

令和8年5月発行

「宮の沢ミライ☆ラボ」第3回ワークショップの開催結果

令和7年度3回目のワークショップを開催しました！

令和8年3月12日（木）に、宮の沢地区のまちづくりを検討する「宮の沢ミライ☆ラボ」第3回ワークショップを開催しました。

18名の方にご参加いただき、まちづくり指針（素案）の内容を踏まえながら、その実現に向けた具体的なアクションについて深掘りする意見交換を行いました。

テーマ まちづくり指針（素案）の共有と 今後のプロジェクトについて

第2回のワークショップで出されたアイデアからテーマを絞り、各テーマについて具体化する意見交換を行いました。

今後も関係部署や地域のみなさまと連携しながら、活動を展開していくことを想定しています。



テーマ1

ちえりあ前広場を活用した音楽フェス

- ・世代を問わず楽しめる音楽イベントをひらく
- ・中学校やスクールバンドと連携する
- ・飲食と組み合わせて、まちを盛り上げる
- ・バスキングを駅構内で展開する（登録制）



テーマ2

ちえりあ前広場を活用したマルシェ

- ・フリーマーケットのように、気軽に出店できるマルシェ
- ・キッチンカーや「野外マンガ喫茶」を展開
- ・親子でふらっと立ち寄れる、憩いの場に



テーマ3

まち歩き・スタンプラリーマップ

- ・白い恋人パーク来訪者を地域へ回遊させる仕組みづくり
- ・神社などの地域資源を取り入れたルート設定
- ・中高生が集まれる場所をマップに載せる（トイレや水飲み場の情報も）
- ・地域の飲食店やスポットの魅力発信



テーマ4

道路空間での景観づくり

- ・戸建住居と連携して季節ごとの花を植える
- ・オープンカフェや歩行空間の演出をしたい
- ・歩いて楽しい空間をつくりたい



テーマ5

地下通路でのにぎわいづくり

- ・子どもの発表の場やテーマ型アート展示など
- ・休憩やマルシェなど「プチチカホ」として活用
- ・気軽に立ち寄り出店できる仕組みづくり
- ・案内サインを整備



その他

プレーパーク

- ・楽しめる機会として今後も続けていきたい

情報発信

- ・ラジオ局や掲示板などで情報発信していく

【リーフレットの発行・お問い合わせ先】

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

電話：011-211-2545（担当/佐々木、新保、若林）

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>

これまでの取組



資料-3 アンケート調査結果

アンケート調査結果の実施概要は、以下のとおりです。

表 アンケート調査の実施概要

項目	概要
実施目的	・ まちづくり指針策定に向けて地域住民の意見聴取を目的に実施
調査対象	・ 宮の沢エリアに居住する約6,300世帯 ・ my groove登録者
実施期間	・ 令和7（2025）年10月14日～11月7日
アンケート調査票の回収	・ 1,345件 回収率：22% （郵送：726件 WEB：634件）

地下鉄宮の沢駅周辺地区のまちづくり指針策定に向けた アンケート調査票

アンケート回答にご協力をお願いいたします。

日頃より地域のまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、令和5年度より、地下鉄宮の沢駅周辺地区で、地域の方々とともに、居心地の良い宮の沢をみんなで考えるワークショップ「宮の沢ミライ☆ラボ」を開催してきました。

昨年度からは、地域の方々との今後のまちづくりの方向性を共有するための「まちづくり指針」の策定に向けて、地域の将来像や取り組むべき方向性を皆さまと一緒に考えています。

宮の沢には、地下鉄駅やバスターミナル、大型商業施設、「ちえりあ」、「宮の沢ふれあい公園」、観光施設の「白い恋人パーク」など、地域の大きな魅力が数多くあります。一方で、歩行空間やにぎわいの向上、観光客との共存など、課題も見えてきています。

このアンケートは、「まちづくり指針」の検討において、宮の沢のこれからのまちの姿について、皆さまのご意見を伺うためのものです。結果は「宮の沢まちづくり指針」の検討以外には使用いたしません。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

アンケートは、下記のQRコードまたはURLから回答をお願いいたします。

また、スマートフォンや通信環境がない方、または紙面での回答をご希望の方は、この調査票の次ページ以降の誌面にご記入いただき、同封した返信用封筒（切手不要）でご返送をお願いいたします。

（回答用） <https://forms.gle/S9qgn6HwqJf1WEx49>



（回答用）

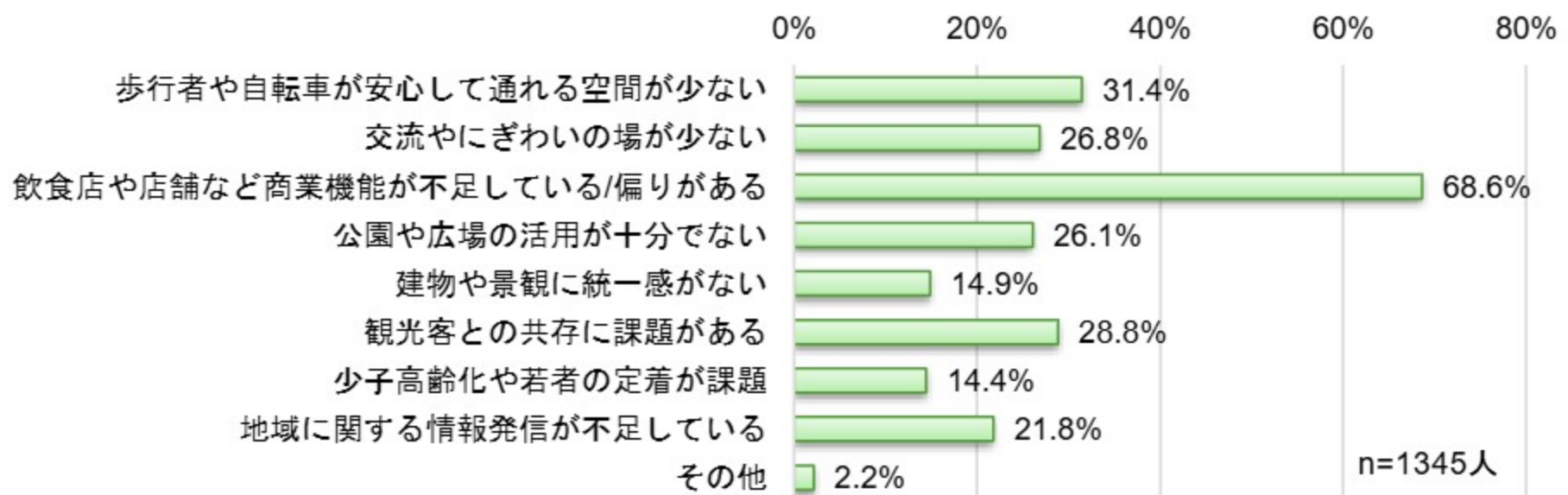
締切：令和7年11月7日（金）

お問い合わせ・返信先 札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課地域計画係
TEL:011-211-2545 FAX:011-218-5113
担当：佐々木、新保、若林

図 アンケート調査票（一部抜粋）

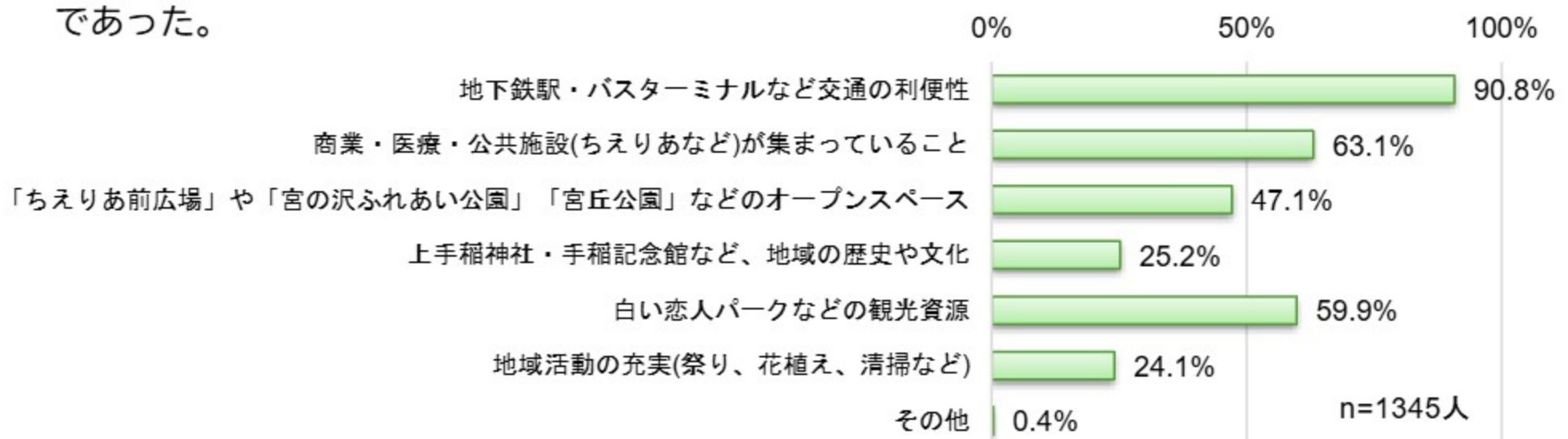
問1 宮の沢駅周辺について「課題だと思うこと」を教えてください。
(あてはまるものすべてに○をしてください。)

課題だと思うことは、「飲食店や店舗など商業機能が不足している/偏りがある」が約7割と最も多い結果となった。次いで、「歩行者や自転車が安心して通れる空間が少ない」が3割強、「観光客との共存に課題がある」が3割弱という結果であった。



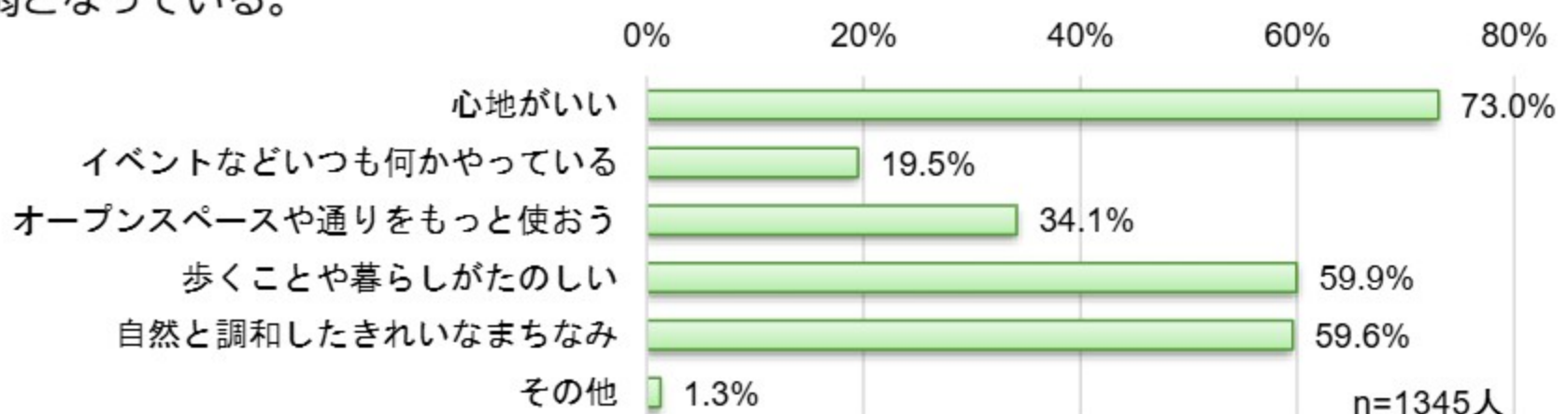
問2 宮の沢駅周辺について「良いところ」「今後も大事にしたいこと」を教えてください。
(あてはまるものすべてに○をしてください。)

良いところや今後も大事にしたいことは、「地下鉄駅・バスターミナルなど交通の利便性」が最も多く、約9割という結果となった。次いで、「商業・医療・公共施設(ちえりあなど)が集まっていること」が6割強、「白い恋人パークなどの観光資源」が6割弱という結果であった。



問3 現在「宮の沢まちづくり指針」の策定を進めていますが、今後のまちづくりで特に大事にすべきと思う方向性を3つまで選んでください。

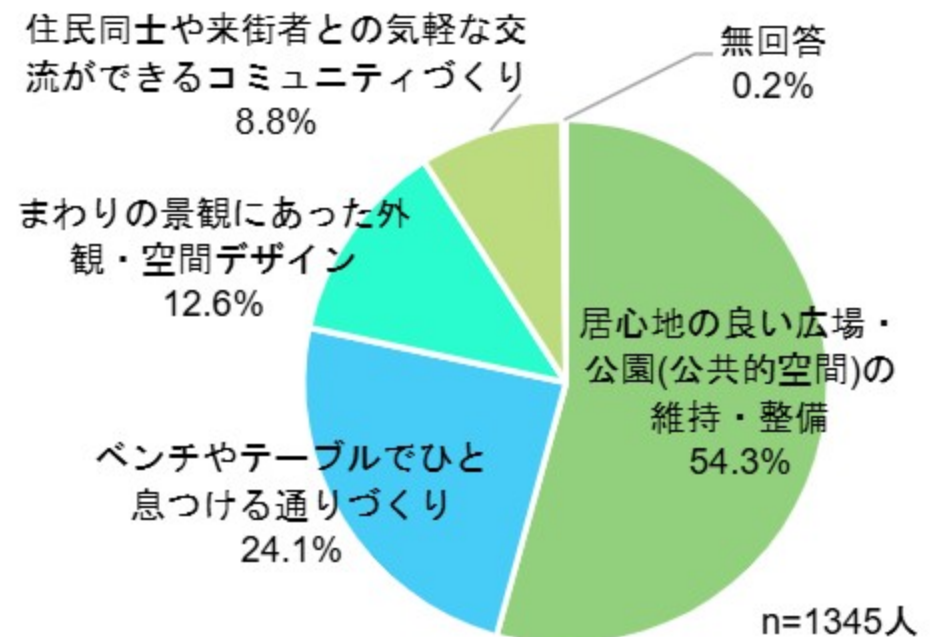
まちづくりで大事にすべき方向性は、「心地がいい」が約7割と最も多い結果となった。次いで、「歩くことや暮らしがたのしい」、「自然と調和したきれいなまちなみ」がそれぞれ6割弱となっている。



問4 将来の宮の沢に必要なだと思う空間や機能について、特に大事だと思う取組を教えてください。「まちづくりで大切なこと」の項目ごとに、ひとつずつ選んでください。

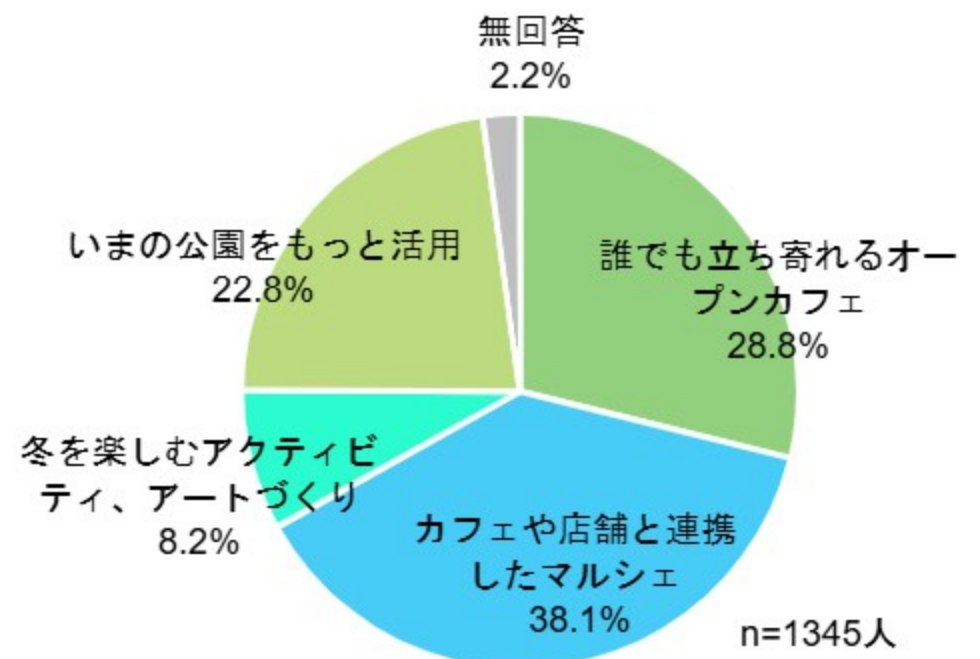
居心地がいい

居心地がいいために大事だと思う取組は、「居心地の良い広場・公園(公共的空間)の維持・整備」が約5割と最も多い結果となった。次いで、「ベンチやテーブルでひと息つける通りづくり」となっており、公園や広場などの施設維持やくつろげる場づくりが求められている。



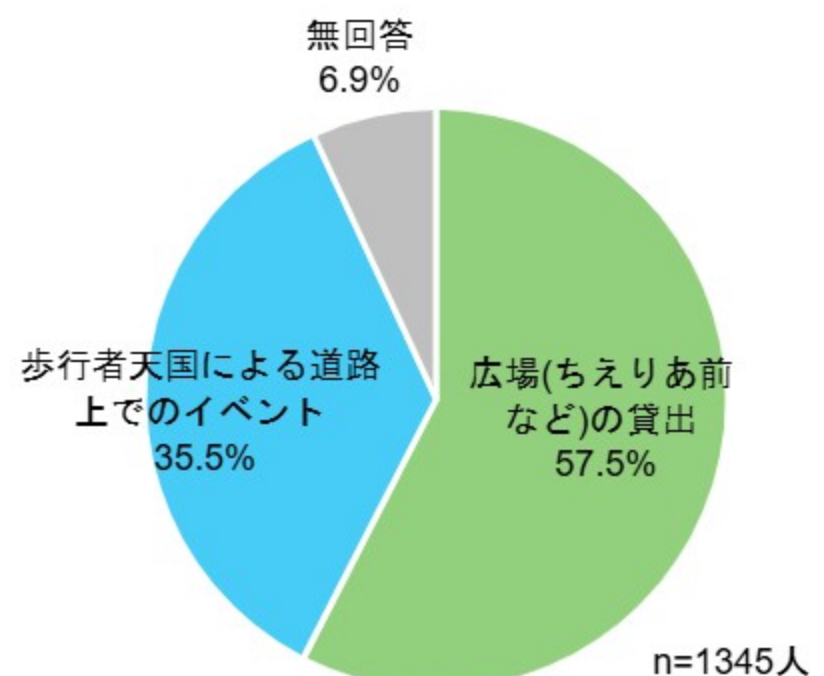
イベントなどいつも何かやっている

イベントなどいつも何かやっているために大事だと思う取組は、「カフェや店舗と連携したマルシェ」が約4割と最も多い結果となった。次いで、「誰でも立ち寄れるオープンカフェ」が3割弱、「いまの公園をもっと活用」が2割強となっており、連携や既存施設の活用が求められている。



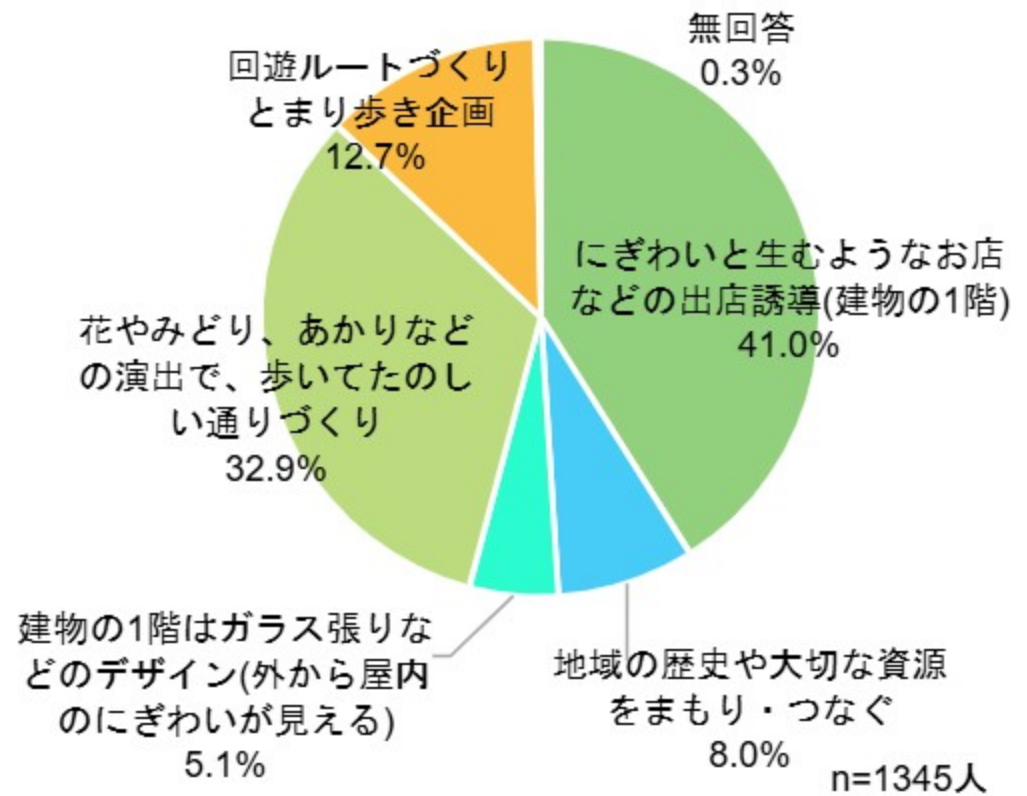
オープンスペースや通りをもっと使おう

オープンスペースや通りをもっと使うために大事だと思う取組は、「広場(ちえりあ前など)の貸出」が約6割と最も多苦半数以上の結果となった。



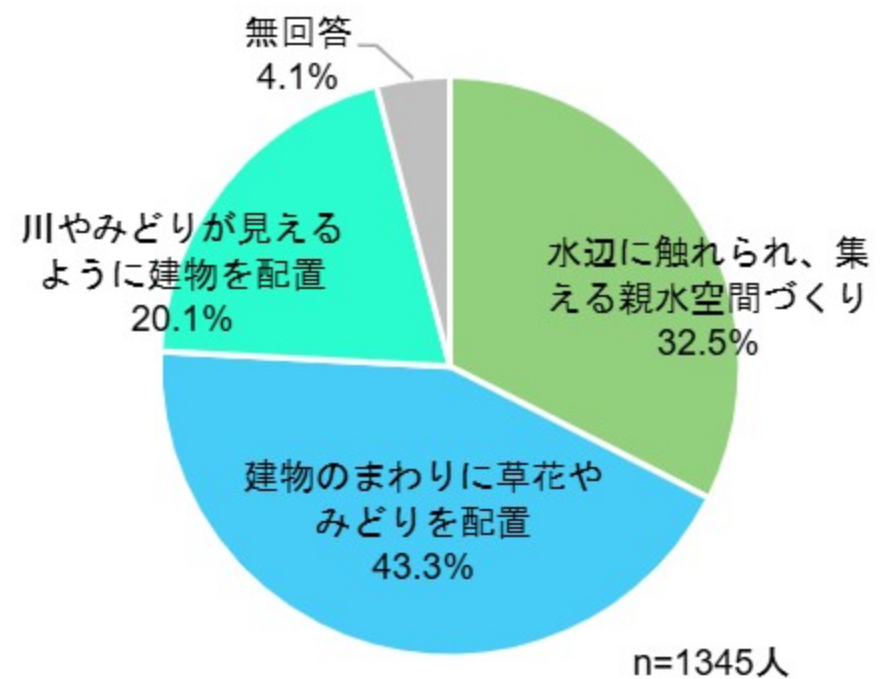
歩くことや暮らしが楽しい

歩くことや暮らしが楽しくなるために大事だと思う取組は、「にぎわいと生むようなお店などの出店誘導(建物の1階)」が約4割と最も多い結果となった。次いで、「花やみどり、あかりなどの演出で、歩いてたのしい通りづくり」が3割強という結果となっている。



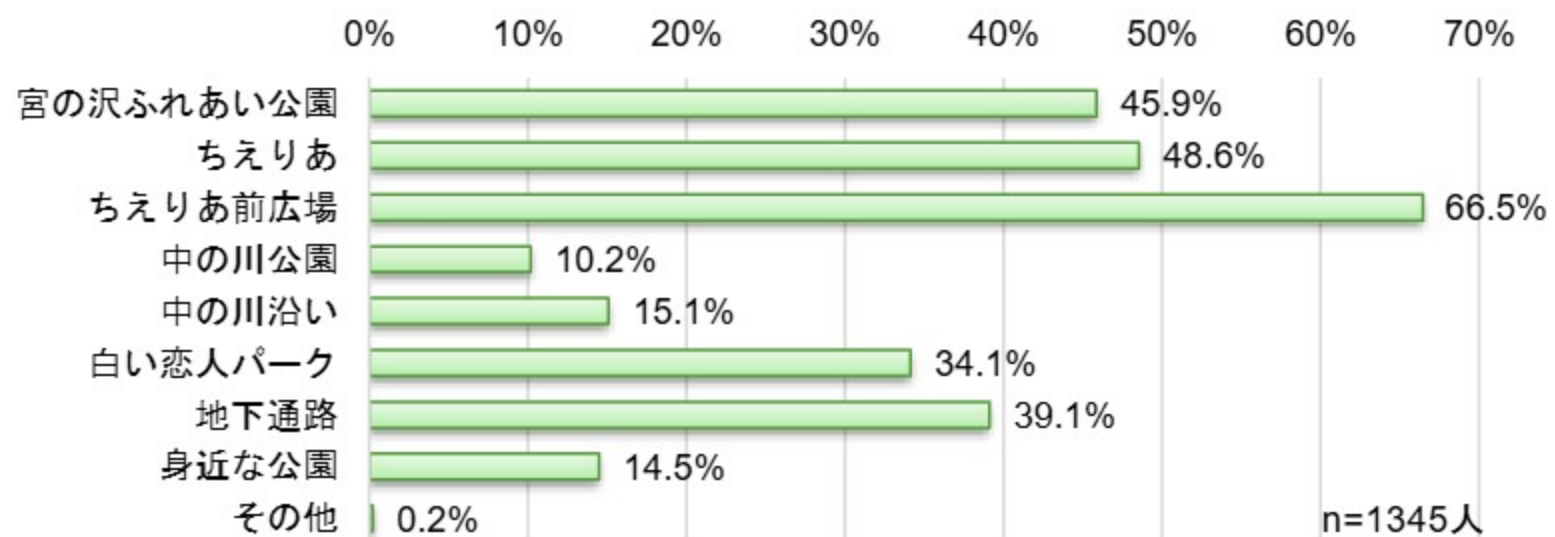
自然と調和したきれいなまちなみ

自然と調和したきれいなまちなみに大事だと思う取組は、「建物のまわりに草花やみどりを配置」が約4割と最も多い結果となった。次いで、「水辺に触れられ、集える親水空間づくり」が3割強となっている。



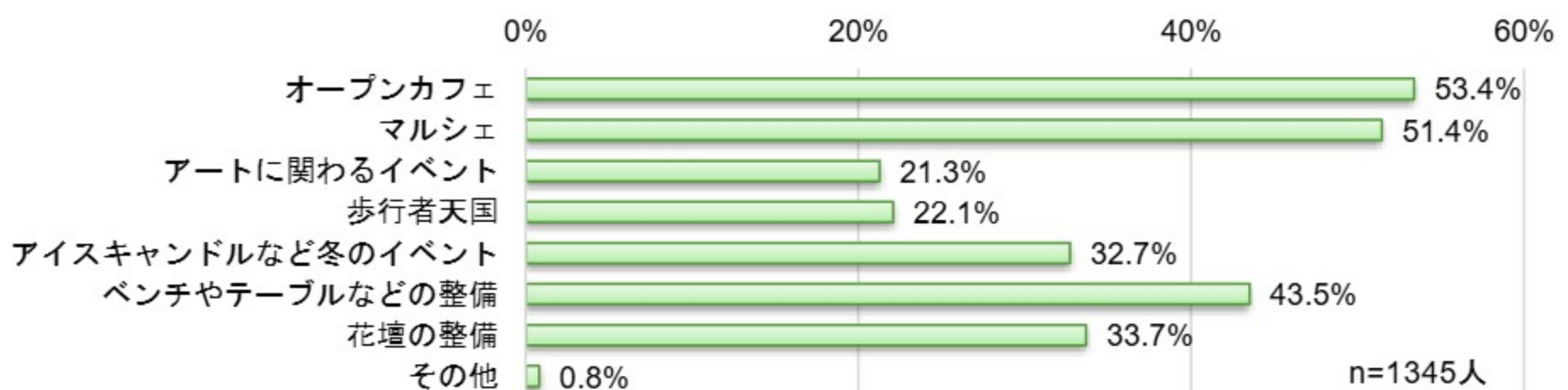
問5 宮の沢駅周辺のにぎわいづくりのために、多くある広場や公園、交流スペースなどをさらに活用していくことが重要と考えています。特に活用をすすめていくことができると良いと考えられる場所がありますか？（あてはまるものすべてに○をしてください。）

宮の沢駅周辺のにぎわいづくりのため特に活用をすすめていくといいと思う場所は、「ちえりあ前広場」が約7割と最も多い結果となった。次いで、「ちえりあ」となっており、ちえりあ全体の活用が求められている。



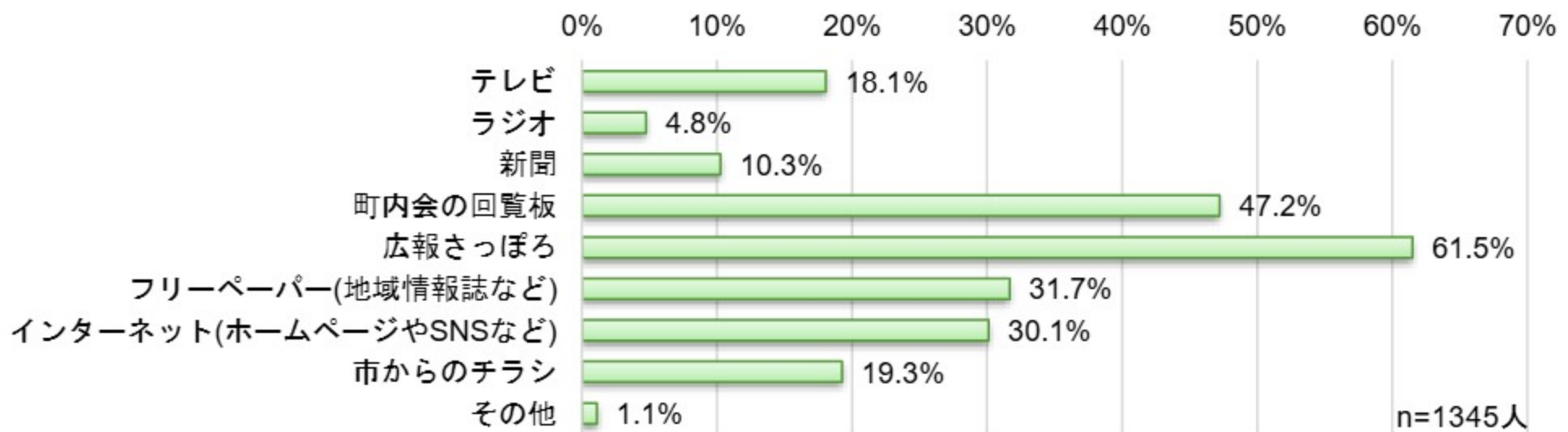
問6 宮の沢駅周辺のにぎわいづくりのために、特にすすめていくことが良いと考えられる広場や公園の活用方法がありますか？（あてはまるものすべてに○をしてください。）

宮の沢駅周辺のにぎわいづくりのために、特にすすめていくといいと思う活用方法は、「オープンカフェ」が約5割と最も多く、次いで、「マルシェ」も5割強という結果となった。このことからソフト面でのにぎわいづくりが求められていることが伺える。



問7 宮の沢駅周辺のまちづくりや地域活動に関する情報は、普段どのように入手していますか。利用頻度の多いものから3つまで選んでください。

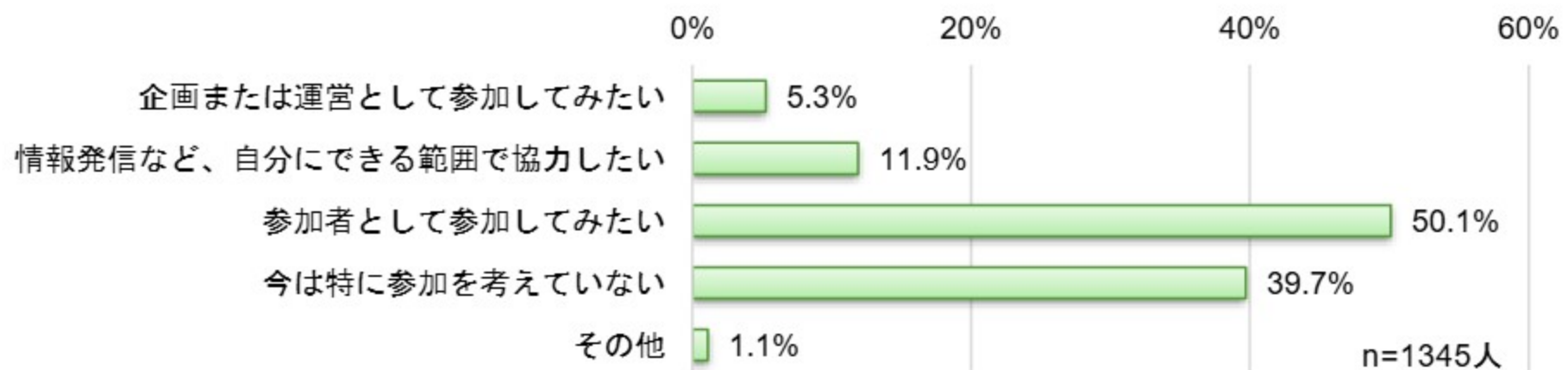
宮の沢駅周辺のまちづくりや地域活動に関する情報の入手方法は、「広報さっぽろ」が約6割と最も多く、次いで「町内会の回覧板」が5割弱という結果となった。50～70代以上の回答者が多かったため広報誌や町内会経由での情報入手が高い傾向にあると考えられる。



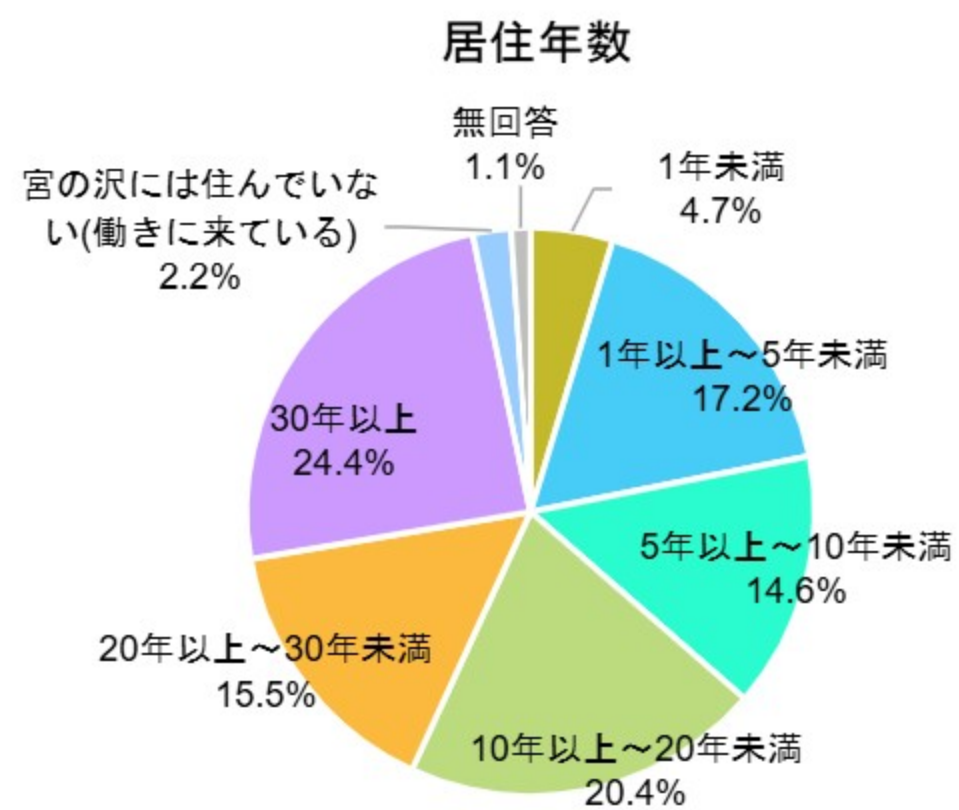
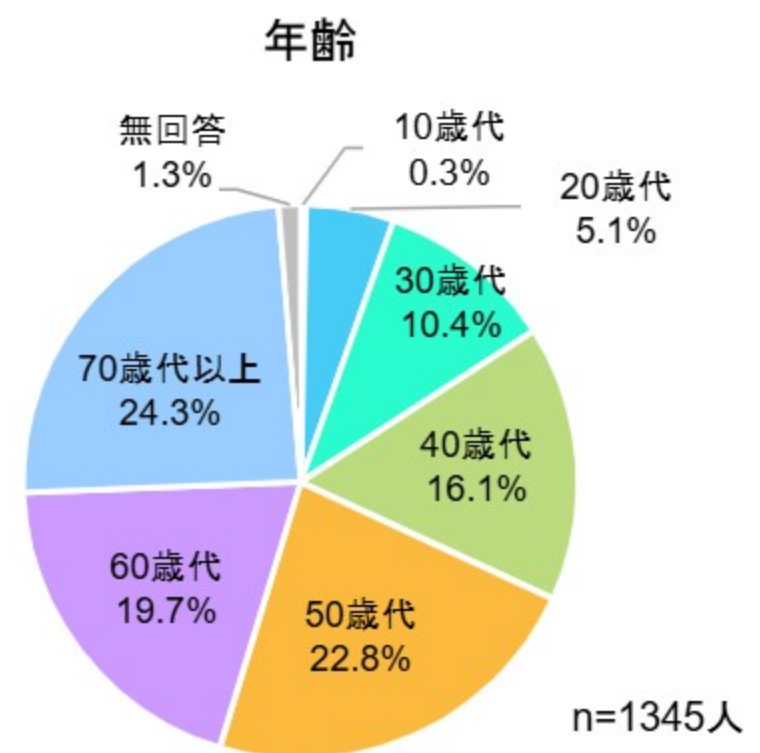
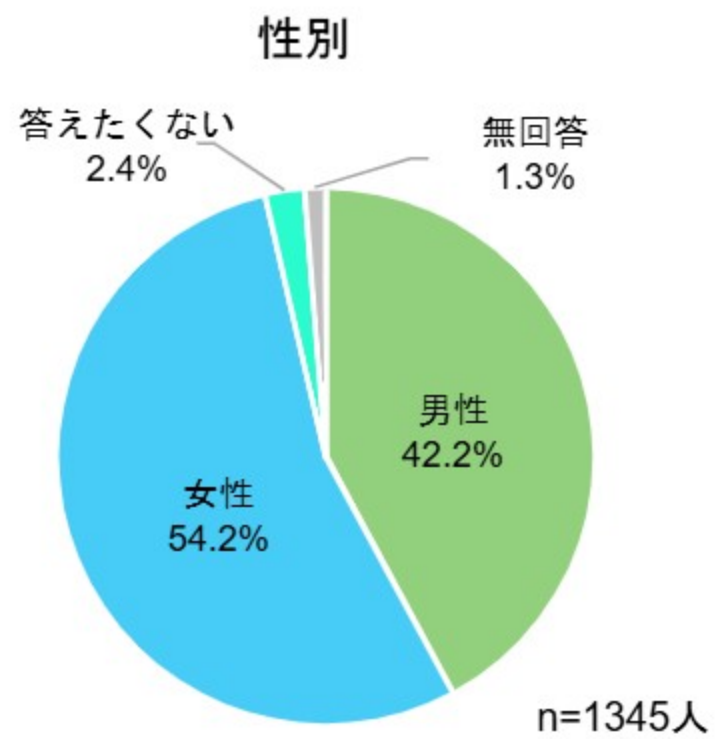
問8 (1) 問6で伺ったような地域活動を行う場合に、どのように関わりたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

地域活動を行う場合の関わり方については、「参加者として参加してみたい」が約5割で最も多い結果となった。次いで、「今は特に参加を考えていない」が4割弱という結果となった。

一方で、「情報発信など、自分にできる範囲で協力したい」や「企画または運営として参加してみたい」も2割弱の回答があった。



問9 あなたご自身について教えてください。



問10 宮の沢駅周辺のまちづくりに対して、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。（自由意見）

交通安全対策・ 信号機設置 (20件)	・ マックスバリュ入口前の道路に関して横断歩道ではない所で渡る人が多いのが気になります。危ないので安全対策を希望します。 ・ 横断歩道の信号機の時間が短い。冬のツルツル路面でゆっくり歩かなくてはいけないのに短すぎて高齢者に厳しすぎる。 ・ 道路の信号機の配置で事故の多い場所での信号機の設置を検討して安心安全な町づくりになったらよいと思います。 ・ 夜でも明るく安心して歩けるようにしてほしいです。冬などイルミネーションなどあったら歩いてても楽しそうです。観光客が多いので歩道を広くするとありがたいです。信号を長くしてほしいです。短いのでとても不便です。緑など歩いていても癒される感じに木など植えて欲しいです。 など
商業施設・飲食 店の充実 (128件)	・ ちえりあ前の広場を有効活用して欲しい ・ もっと活気ある街をお願いします。散歩して休憩できる場所をもっと増やして欲しい(今は駅周辺の1-2ヶ所しかない) ・ 安全で安心、居心地の良い街であってほしい。幹線道路もあるので事故のない街、住民と観光客とが共生できる街、子供達が安全で楽しく暮らせる街になってほしい ・ 駅周辺をもっとにぎやかにしてほしい。北海道らしい居酒屋、バーがたくさんあれば道外からきた親戚や友人をもてなすのに便利で喜ばれると思う など
除雪・冬期対策 (23件)	・ 過ごしやすい所だと思います。除雪も整備されてれば更に良いと思います ・ 車イス障害者(視覚障害者)等に対して、歩道の段差解消と冬季のロードヒーティング整備が必要と思う。健常者の立場と障害者の立場の共生が必要と思う ・ 冬期間の歩道の除雪を徹底してほしいです など
街灯・照明の増設 (15件)	・ バスの本数がへって歩く場面が多くなったので夜などの安全面を考えて欲しい ・ 街灯が少ない ・ 夜でも明るく安心して歩けるようにしてほしいです。冬などイルミネーションなどあったら歩いてても楽しそうです。観光客が多いので歩道を広くするとありがたいです など
観光客対策・マ ナー問題 (38件)	・ 観光客が住宅地に入り、雪の時期などめいわくしているのでイベント時の案内など人の流れ方に注意してほしい ・ 冬、雪山だったりツララだったりを観光客が敷地内に入って写真撮ったりするので、個人情報保護や無断侵入を阻止出来るような何かしらの対策があれば良いと思う ・ 路上駐車対策を強化して欲しい など
クマ・野生動物 対策 (11件)	・ まちづくりの前提として、安心安全なまちづくりであることがとても重要であると考えます。 ・ 中の川沿いの整備をお願いいたします。川沿いの草刈りは年に一度されていますが自然に生えた草木などは残されたままです ・ 熊を駆除してください。本当に切実です。子供が安心して暮らせるようにおねがいします など
地下通路・地下 道の整備 (13件)	・ 宮の沢駅周辺は、札幌市でも有数の自然が豊かで綺麗な町です。観光客も毎日訪れる数少ない地下鉄駅です。特徴は駅周辺の歩道をもっと歩いて楽しい町にするべきです ・ 地下鉄付近を冬対策として地下通路を充実させてほしい ・ 白い恋人パークと宮の沢駅をつなぐ地下歩道、複合ビルの誘致など生活を便利にするハード系の対策が必要 など

資料編

公園・緑地の整備 (23件)	- 公園の遊具も新しくなったりと小さな子供たちの遊び場が増えて嬉しいです。しかしながら整備が不十分な公園(特にいちょう公園の山)も見られるので、定期的な見まわりや不備がみられた時の連絡先を明確にしていただけると助かります - ちえりあ広場に関して子供の危険なところがある。管理、見守る人は「入れさせない」「使用だめ」ではなく、安心安全に出来るように造る - 宮の沢ふれあい公園に駐車場がほしい など
道路・歩道の整備 (22件)	- 階段や段差も多いので、イベントがあってもベビーカーや車椅子で行きにくい - 街並みが綺麗なので壊さずそのまま残して欲しい。駅までの地下通路が出来れば尚いいと思います - 歩道の雑草をなくすだけでもさっぱりとキレイになります など
バス路線・交通網の充実 (15件)	- コミュニティバス運行など自動化が進んだ時、交通の集積地として活かしていただきたい - バスターミナルが殺伐としているので、バスターミナルのにぎわいづくりなどを取り組むの良と思う。公共交通の活性化にもつながると思う - バスの減便はなかなか外に出かけにくい理由、イベントのある時は循環バスみたいな臨時便があると参加しやすい など
駐車場の整備 (14件)	- ちえりあ前広場の駐車場をもっときれいにしてほしい。土日祝日などでキッチンカーイベントなどやって楽しみたいです - ふれあい公園にスクーターを乗り入れている若者がいます。土日は路上駐車も多い。新しいイベントをする前に改善できることから始めるべき - 駐車場をもっと増やしてほしい など
交番・治安対策 (20件)	- 安全で安心、居心地の良い街であってほしい。幹線道路もあるので事故のない街、住民と観光客とが共生できる街、子供達が安全で楽しく暮らせる街になってほしい - 宮の沢駅地下鉄駅周辺に交番設置 - 治安のよい、安全な街にしてもらいたい など
イベント・まちづくり活動 (32件)	- ちえりあ前広場の有効活用で常になぎわい感のある場所にして欲しい。 - まちづくりと共に町内会のつながりを拡大したい - 子供達の遊び場が増えて欲しい。冬ならではのイベント(滑り台とかスキー教室とか)(子どもが参加するものなので高い値段でなく小学生が持ち歩ける金額で) など
住環境の維持・改善 (57件)	50年以上住んでおります。地下鉄もなく、今ある建物のほとんどが新しくなっているものばかり。当時の宮の沢では考えられないくらい便利で住みやすい地となりました。暮らすことについてはとても良い場所です。今以上に良い地域となることに期待します。 - とても住みやすくきれいにしている街だと思います。カフェや夜の飲食店が駅近にあればうれしいかな。街の人と少しでも関わりをもって生活したいと思うけど... - 若者が集まる活気があり、子供から、お年寄りまで楽しく、安心して暮らせる街 など
情報発信の拡充 (11件)	- ちえりあをどのように活用していいのかわからないので、ちえりあの使い方を広報さっぽろなどで教えてほしいです - 町内会や地区でのホームページがあればいい。お祭りの情報などがわからない - 宮の沢は中央区に住んでいる人ですら行ったことがない遠い地の果てといったイメージを持っています。大通からも近い、キレイ、安全、楽しいなどの発信をしてほしい など
その他 (27件)	- まだまだ可能性があり大いに期待できる街だと思っています - 子育てもしやすく快適に過ごせる街で行政の皆様や地域の皆様のご尽力に感謝しています - 歴史を伝えることに力を入れてほしいと思います。なぜ宮の沢と言うのか。私たちはそんな基本的原点から知る必要があると思います など

宮の沢まちづくり指針

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
電話 011-211-2545 FAX 011-218-5113

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html>



さっぽろ市
01-803-26-1558
R8-1-105